

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	046 -	事業名	公民館事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
------	-------	-----	-------	------	-------------

基本情報	第5次総合計画・基本方針	—	会計区分	一般会計
	まちづくり行程表・フラッグ	—	予算区分(款 - 項 - 目)	
	第6次総合計画・基本目標	✓ 「やってみたい」でつながるまち	9-4-1 社会教育総務費	
	法定受託事務の有無	—		
	その他(関係計画、要綱等)	✓	社会教育法第20条、長久手市公民館条例、長久手市公民館条例施行規則、第2次長久手市生涯学習基本構想	
事業開始の背景、経緯等	昭和49年～			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ・公民館の貸出し ・公民館の管理・運営を行う。		
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 公民館利用者(市外の人も可)		
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 公民館を良好な状態で市民及び公民館利用者に貸出し、教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興・社会福祉の増進に寄与することを目的とする。		
	事業を構成する事務事業(B票)	① 公民館事務事業	改善・見直し	④
				⑤
				⑥

コスト推移	項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	事業費(A)	千円	予算	3,952	4,032	3,240	3,229	3,595
			決算	3,685	3,739	3,070	3,049	
人件費(B)	千円	決算	5,042	3,502	4,833	5,499		
総コスト(A)+(B)	千円	決算	8,727	7,241	7,903	8,548		

成果推移	成果指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	A 公民館稼働率	%	目標	60	60	60	50	50
			実績	58.4	54.5	43.9	45.6	
	B		目標					
			実績					
C		目標						
		実績						

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 前年度実績を上回るように目標設定する。

B

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 県内54市町村全てに公民館又はコミュニティ施設が設置されている。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) H29年度に文化の家大規模改修の完了及び確定申告、無料税理士相談を他施設で実施した結果、稼働率は減少気味であったが、H30年度は、時間貸しを開始し、稼働率が少し上昇した。
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 公民館利用に関しては、これまで午前、午後、夜間の利用枠であったが、H30年度から時間貸しを開始し、利便性を改善した結果、稼働率が上昇した。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 午後6時以降(夜間の時間帯)の利用が少ない。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 地域の生涯学習の場である公民館を適切に管理する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 平成30年度から公民館の時間貸しが開始されたため、1時間単位の利用ができることや、利用者が少ない夜間6時以降の定期的な夜間利用が可能であることをPRし、稼働率の向上を図る。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	
------	-------------------------	--

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	公民館事業		担当部課	くらし文化部生涯学習課	決算書ページ	—
事務事業名	①	公民館事務事業	予算区分	9-4-1 社会教育総務費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	昭和49年(1974年)～	終了(予定)年度	—		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 適切な公民館の管理・運営を行い、市民及び公民館利用者に貸し出す。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 公民館を良好な状態で貸し出す。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算	3,952	4,032	3,240	3,229	3,595
		決算	3,685	3,739	3,070	3,049	
<備考：事業費の主な内訳（30年度(2018)）>							
(1) 公民館等管理委託			2,819 千円				
(2) 損害保険料			114 千円				
(3) 印刷製本費			63 千円				

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
公民館利用者数	人	見込	57,000	55,000	44,000	40,000	44,000
		実績	54,040	43,325	39,836	43,470	
		見込					
		実績					
<備考：活動の概要（30年度(2018)）>							
公民館の管理・運営を行った。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

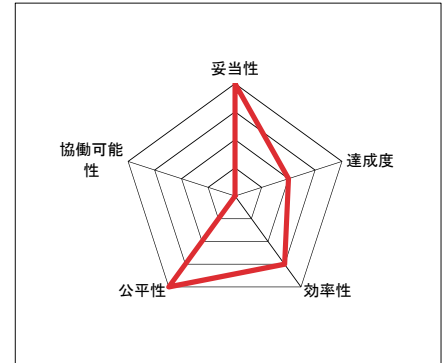
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 公用利用が減少し、多くの一般の方に利用してもらえるようになった。
--

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
3,229 千円 3,595 千円 366 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 改善・見直し
・前年度【コメント】
平成30年度から公民館の時間貸しを開始するため、1時間単位の利用ができることや、夜間6時以降、定期的な利用が可能であることをサークル等にPRする。
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか)
平成30年度から公民館の時間貸しを開始することで、1時間単位の利用ができるよう利便を図り、稼働率の向上に取り組んだ。

6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	2
効率性	3
公平性	4
協働可能性	—



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数 (人)				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込	—	—	—	—
実績	—	—	5,499	—
(2) 協働の状況 (30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
市民協働する事業でないため、評価できない。				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
平成30年度から公民館の時間貸しを開始することで、1時間単位の利用ができるよう利便を図り、稼働率の向上に取り組んだ。

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
午後6時以降、公民館利用が少ないので、時間貸しのPR等により夜間利用者を増やす。

7. 今後の方向性

改善・見直し